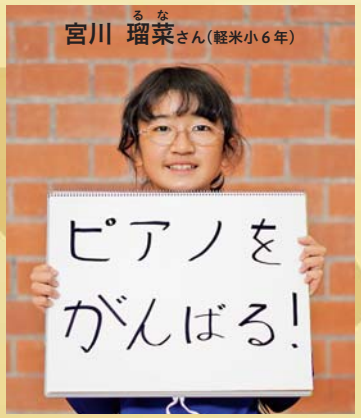
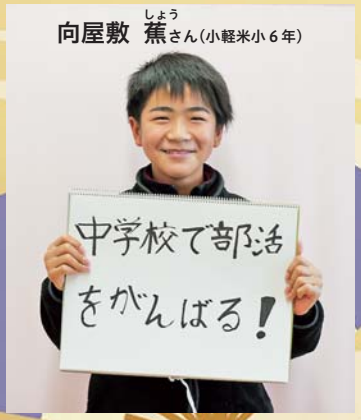
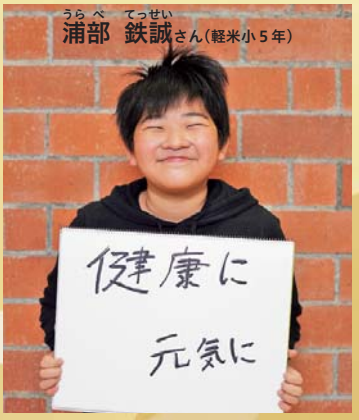
広報かるまい
Karumai 1
町の魅力と町民の輝く姿を届ける情報誌
Jan. 2022
vol.754





寅年の小学生に聞いた
新年の抱負

この一年で飛躍を遂げられるように——



New Year's greetings 2022

新年のごあいさつ

明

けましておめでとうございます。昨年は、新たな変異株の出現など長引くコロナ禍の中、12歳以上の町民へのワクチン接種や影響を受けている事業者への支援に奔走した1年でした。本年も継続して感染症対策と社会経済活動の両立に取り組んでまいります。

さて、住みよい環境と活力ある地域社会を維持していくため、昨年新たな総合発展計画及び「第2期軽米町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、町の将来を展望した人口ビジョンや5カ年の年次計画を定めました。

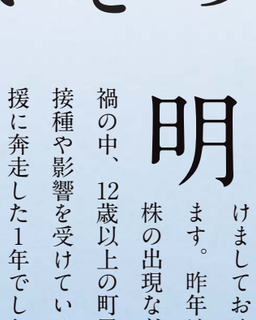
特にも重要施策として位置付けている「地域資源を生かした雇用の創出と産業の振興」については、脱炭素社会の実現に向け、再生可能エネルギーの推進に取り組んでおります。昨年「軽米尊坊ソーラー」の稼働を開始したほか、「軽米風力発電所」の電気を横浜市内の事業者に供給しております。

また、新しい農業の取り組みの一つとして、昨年、東京にあるスマート農業システム開発を行っている会社と、次世代型農業に関する包括連携協定を締結いたしました。現在、遊休ビニールハウスで次世代型農業経営の実証試験圃場を設置し、縦型水耕栽培施設での実証実験を進めております。

さらに、町の重要施策である「かるまい交流駅（仮称）」の整備事業につきましては、令和5年度内の供用開始を目指し、現在工事が進んでいるところであります。この施設が中心商店街活性化の拠点となり、また多世代の交流や地域の賑わい創出につながるよう、本年はソフト面とハード面双方の準備を着実に進めてまいります。

町の将来像である「一人一人の活力と思いやりが循環するまち」の創造に向け、本年も邁進してまいりますので、引き続きご支援、ご協力をお願いいたします。

結びに、皆さまが町に愛着と誇りを持てる町づくりを進めてまいりますので、皆さまのご支援、ご協力をお願い申し上げ、新年のあいさつといたします。



軽米町長
山本 賢一

軽

米町議会を代表して、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

本年は議会議員として残すところ任期1年余、本格的な議員活動を行う最後の1年となりました。町民福祉の向上につながる新たな課題解決に向けて、議会一同、軽米町の発展のため、全力を傾注してまいります。

マスクの下は笑顔です

「目は口ほどに物を言う」ということわざがあります。マスクは感染症対策には非常に有効な手段ではありますが、目と言葉だけでは相手方の感情が読み取れず、顔の表情が如何に大切なものかと気付かされました。マスクの下は笑顔です。町民の皆様方にはどんな小さなことでも遠慮せず、議員へのお声がけを宜しくお願いします。

今後の活動と議会のペーパーレス化

コロナ禍で2年間にわたり町民の皆様方も大変不自由な思いをされました。議会活動も自粛の状況が続いてきましたが、今年は感染症対策をしっかりと取りながら、外に視野を大きく広げる議会活動に取り組む決意でありま す。また、新たに議員1人に1台のノートパソコンが貸与されました。新年度からの本格運用に向け試行錯誤しながら現在取り組んでおります。

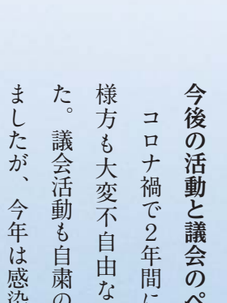
昨年の議会提言が施策に反映

提言4項目中、子育て支援日本一の町にふさわしい、ベビー祝金や結婚祝金制度の見直しが行われ、役場職員募集には「民間等経験者向け」の枠が加えられました。残された課題についても引き続き取り組んで参ります。

軽米高校生徒さんが傍聴に

昨年12月定例会の一般質問を軽米高校の生徒が傍聴に来ました。町民に開かれた議会として大歓迎し、議会としてもいい刺激を頂きました。次回は生徒議会の開催や意見交換会が出来ればとの思いを強く致しました。

今後とも町民の声が反映され、議会の総意としての議会運営に努めてまいる所存であります。皆様のご協力のほどよろしくお願いいたします。



町議会議長
松浦 満雄

■申告相談の日程

日　2月14日(月)～3月15日(火)　　**時　午前9時～11時、午後1時～3時**

会　場	月 日	受　付　対　象　区
小軽米出張所	2月14日　月	河北、沢田
	15日　火	上河南、下河南、松ノ脇、百目金
	☆16日　水	八木沢、屋敷、市野々、小玉川
晴　山出張所	17日　木	上晴山、下晴山、早渡、内城、下野場、上野場、高清水
	18日　金	横枕、沼、観音林東、観音林西、観音林南、観音林北、山口、貝喰
	☆21日　月	駒木、大久保、上谷地渡、下谷地渡、平、中村、和当地、竹谷袋、新井田、大清水、駒板
農村環境改善センター	22日　火	高柳、鶴飼、笹渡、百鳥
	24日　木	上新町、大町、元屋町
	25日　金	下新町、駒木
	28日　月	仲軽米、沢里、上舘、新光団地、緑ヶ丘
	3月1日　火	萩田、仲町、本町
	2日　水	蓮台野、荒町、門前
	3日　木	戸草内、上増子内、下増子内、七ツ役、東台、東
	4日　金	向川原、桜山
	6日　日	休日申告相談（主に給与所得の確定申告、還付・合算）
	7日　月	高家、西里、外川目、君成田、山田、岩崎、車門
	☆8日　火	蜂ヶ塚、米田、牛ケ沢、民田山、大久保
	9日　水	上円子、下円子上組、下円子下組、板橋、蛇口、大沢
	10日　木	新大鳥、長倉、上尾田、下尾田、小松、苅敷山、向高家
	11日　金	
	14日　月	町内全域で申告を済ませていない人
	15日　火	

・申告に必要な書類は、役場税務会計課と各出張所に準備してあります。
・どの日でも申告できますが、待ち時間を短縮できるよう地区割りにしていますのでご協力ください。
・3月6日の休日申告相談日は大変混みあいますので、**事前に書類の整理をして**お越しください。
・☆がついている日は、会場までバスを運行します。運行時間は後日発行するお知らせ版をご確認ください。

準備はお早めに

税の申告相談

所得税と町県民税の申告相談を受け付けます。申告が必要な人は期限内に申告してください。郵送での申告も可能です。

■申告が必要な人

令和4年1月1日時点で町に住所があり、以下いずれか1つでも該当する人

◎給与所得以外の所得がある人
◎源泉徴収票の控除などに変更がある人（医療費控除を受けようとする人など）
◎年末調整をしていない人
◎国民健康保険に加入している18歳以上の人
◎所得がない人や扶養されている人で、所得証明などが必要な人
※該当する人は申告書が配布されていなくても会場にお越しください。
※咳・発熱の症状があるなど体調がすぐれない人はご来場をお控えください。
※感染症対策のため、マスクの着用、手指消毒のご協力をお願いします。

■申告に必要なもの

◎**マイナンバーカード**（または番号通知カードと顔写真付きの身分証明書）
◎**収入額を確認できる書類**（源泉徴収票、生命保険満期返戻金・解約返戻金、個人年金の支払い証明書など）
◎**所得控除の内容を証明する書類**（医療費通知書もしくは領収書、社会保険料・国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料の領収書など）
◎**申告書**（町が配布した申告書を受け取った人のみ）
※以下該当する人は必要です
◎障害者控除を受ける人　→　**障害者手帳**
◎配偶者控除・扶養控除を受ける人　→　**配偶者や被扶養者の収入を確認できるもの**
◎事業所得のある人　→　**記帳した帳簿類**
※農業所得の「経営所得安定対策交付金」「軽米町和牛繁殖農家緊急対策支援金」「軽米町和牛肥育産業緊急対策支援金」、営業所得の「軽米町地域企業経営継続支援事業補助金」「軽米町事業者等緊急対策支援金」は申告が必要ですので、通知書を持参してください。

新型コロナウイルス感染症対策にもつながります

スマホやパソコンでの確定申告をご利用ください

国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」を利用すれば、いつでも自宅で申告書が作成できます。作成した申告書は郵送のほか、電子申告e-Taxでも提出可能です。感染防止対策として積極的にご利用ください。

↑国税庁ホームページ

郷土芸能の粋を存分に披露

令和3年度軽米町郷土芸能まつり（軽米町郷土芸能保存会主催）が、11月28日に町農村環境改善センターで開催されました。2年ぶりの開催を楽しみに観客約100人が来場しました。各団体が特色を全面に出した踊りを披露し、観客の目を引き付けました。

1＿ダイナミックで迫力のある『三番叟』を踊る山内神楽　2＿八幡宮の祭典では御輿の先導を務める太神楽の舞は、フラットなリズムで温雅なもの　3＿伊保内高校郷土芸能委員会がゲスト出演し『切舞』を披露　4＿小軽米小学校児童たちによる沢田神楽の『剣舞』　5＿九戸村の江刺家神楽による、三者の連携が見どころの『三宝荒神』

がんばりの集大成を大舞台で

12月2日から10日にかけて、町内こども園・保育園で発表会が行われました。園児たちは、大勢の視線と多数のカメラを前に物怖じせず、メリハリをつけた目いっぱいの演技や、園児同士で息を合わせた演技を披露しました。拍手喝采が送られたことで、頑張りを認めてくれたと感じ取った園児たちの中には、幕が閉じ切るまで観客席に手を振り続ける子もいました。

1＿『清流昇り打ち』を演奏し切り決めポーズ　2＿息を合わせて元気できれいな音色を響かせました　3＿「お化けを怖がる」お化けが、愛嬌たっぷりのダンスで観衆を魅了　4＿命を狙う魔法使いから、全速力で逃げろー！　5＿年長のお姉さんが、穏やかで優雅な舞いを見せる

瑞宝双光章

荒澤　作郎（さくお）さん

（74歳、向川原）

33年にわたり消防活動に貢献をした功績が認められ受章

消防活動への多大な貢献が認められ、荒澤作郎さんが瑞宝双光章を受章しました。

荒澤さんは昭和49年４月から消防士となり、平成８年11月からは５年５カ月にわたって二戸消防署軽米分署長として活動するなど、二戸地域の消防活動に尽力しました。

軽米分署長を務めた際は、平成10年４月の大規模山林火災、平成11年10月の豪雨災害にも対応。「火災では建物への被害が、豪雨災害では人的被害が無くよかった。各所が連携して役割を果たしていたことが要因だと思う」と振り返りました。

また「何事も基本に忠実な行動を心掛けてきた。現在頑張っている人たちも常に同じような気持ちで臨んでほしい」と現在活動する消防士にエールを送っていました。

旭日単光章

松田　廣（ひろし）さん

（71歳、松ノ脇）

ホップ栽培技術の改善や経営の確立への功績が認められ受章

元ホップ農家の松田廣さんが、旭日単光章を受章しました。

ホップ栽培では特に、栄養のバランスがとれた土づくりを、約50年にわたってこだわってきたという松田さん。途中で栽培方法を大きく変え、ホップ収量の大幅増加を遂げた際も「独自の地道な改良があってこそのものだった」と笑顔を見せました。さらに「ホップの収量が上がり収入が増加したことが分かると、ホップ農家を続けてよかったと思える」と、農家としてのやりがいを振り返りました。

現在は農家をやめ、静かに暮らしているとのこと。ホップ生産を頑張っている農家に「後継者不足が深刻だが、体調に気を付けながら町のホップ産業を維持してほしい」と期待を明かしました。

木炭生産の未来を考える
里山保全と木炭の未来　ＩＮ　軽米

木炭生産の未来を考える研修会『里山保全と木炭の未来 IN 軽米』が、11月23日に雪谷川ダムフォリストパーク・軽米で行われました。

前半は㈲ウィルビー代表の志村尚一（しょういち）さんから、生産者と消費者のつながり、木炭生産地域と他産業が主流の地域とのつながりといった連携の大切さや、今を生きる人たちが持つべき精神と役割についての講演が行われました。参加者全員が、熱心に耳を傾けていました。

後半は岩手県産の木炭と輸入炭の違いを実際の火おこしで比較しながら、バーベキューを楽しみました。木炭生産者から県産の木炭は輸入炭では発生するにおいが少なく、炎がほとんど立ち昇らないという説明があり、県産の木炭の長所を改めて実感していました。

1　志村さん（右）の講演に参加者全員が聞き入っていました
2　県産の炭（左）と輸入炭は燃え方に大きな違いがあります

スマートフォンの基本を学ぶ
シニア向けスマホ教室

シニア向けスマホ教室が12月７日に中央公民館で行われ、15人が参加しました。この教室はドコモショップ二戸店のスタッフが講師となり、無料で実施されたものです。

前半の講義では、スマートフォンの基本的な操作方法や、過充電や低温の場所を避けるなど管理の注意点などを学びました。後半は音声認識機能を活用したアプリのインストールや、インターネット上での動画検索を体験しました。

参加者からは「いつでも家族に聞けるわけではないので、教わる機会をいただけて良かった」「高齢者だが、社会の変化について行けるように使いこなしていきたい」「地図を見たり買い物をしたりするのに活用したい」などの感想が挙がりました。

1　スタッフから教わりながらスマートフォンを操作
2　気になるテーマで音声検索するため、真剣に説明を聞きます

互いに町自慢バトル
音更町とのオンライン交流会

姉妹町の音更町との訪問交流は本年度も中止に。その代替事業として、昨年度も実施した姉妹町小学生絵画作品展に加え、晴山小学校５年生と、北海道音更町立音更小学校５年生とのオンライン交流会が11月30日に行われました。

前半は学年全体で町のアピールタイム。ポイントを分かりやすく押さえた音更小学校５年生の発表に対し、晴山小学校５年生は生中継と収録済みの映像を巧みに織り交ぜて町の特産品や観光名所などを発表し、練習を重ねてきた山内神楽も披露しました。後半は３グループに分かれて互いの町にまつわるクイズを出題し合い、前半のアピールタイムなどから正答を真剣に考えたり、正解発表に一喜一憂したりと、限られた時間の中で交流を楽しみました。

1　画面に映った音更小児童たちと記念撮影
2　それぞれの町に関わるクイズで交流を深めました

中家さんが最優秀賞受賞
暴力団追放標語コンクール

暴力団追放意識の啓発を目的とし二戸管内で行われた標語コンクールで、中家沙姫（さき）さん（軽米中１年）が最優秀賞に選ばれました。同校からは中村心葉（ことは）さん（１年）、畠山琉羅（るい）さん（２年）も優秀賞に入賞しました。

交通安全活動の実績を評価
交通安全功労表彰

圃田喜一さん（上河南）が岩手県交通安全表彰を、苅谷邦夫さん（高家）と田名部晴夫さん（上新町）が岩手県交通安全対策協議会表彰を受けました。長年の交通安全活動が評価され、今回の受賞に至りました。

継続を記念し賞賛状
交通死亡事故ゼロ日継続１年

町の交通死亡事故ゼロ日継続１年達成を記念して、12月２日に賞賛状が授与されました。山本賢一町長は「町内でも物損事故が散見されるが、死亡事故ゼロ日は継続させたい」と決意を新たにしました。

いのちは奪っても奪われてもいけないもの

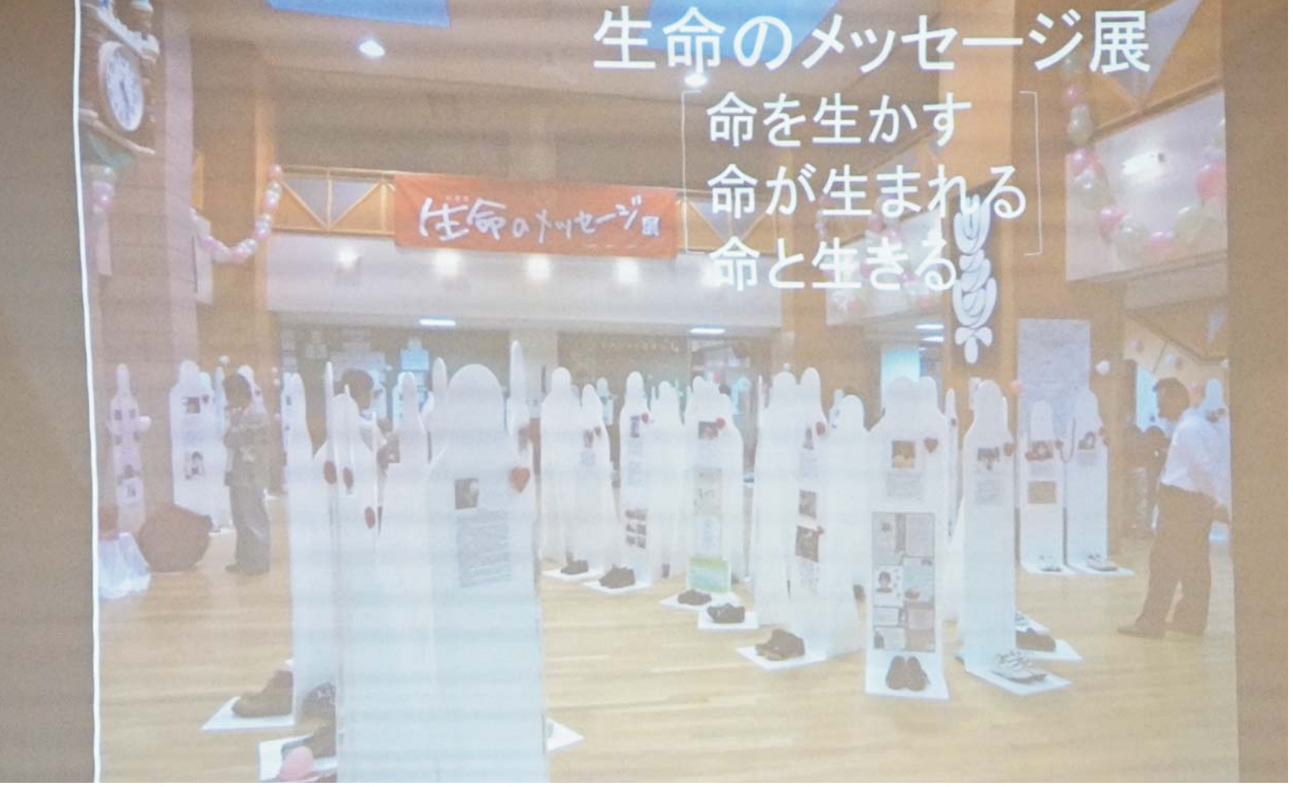
犯罪被害の実態や命の大切さを伝える「いのちの尊さ、大切さ教室」が、11月26日に軽米中学校で行われました。この教室は岩手県警察本部などが主体となり、県内の各学校で実施しているもので、全校生徒や教員、希望した生徒保護者が聴講しました。

講師の大崎礼子さん（二戸市）は、21年前に発生した飲酒運転による交通事故で、娘の涼香（りょうか）さんが亡くなった日の状況や子どもたちの証言、被害者遺族として生きていくことになった家族の苦しみを話しました。

事故当時は、一緒に登校していた大崎さんの息子2人の「妹がだんだん動かなくなっていくのを見た」という証言は、生々しい事故の光景を物語っていました。また、大崎さん自身が「あのとき車で送り届けていればよかった」と後悔に苛まれるエピソードでは、時折目頭を押さえる聴講者も見られました。

講演の最後には大崎さんから「被害者遺族が少しでも普通の生活に戻るためには、そばにいてくれたり、話を聞いてもらったり、共感してもらったりといった、寄り添う気持ちが必要。被害者になったときに、どんな接し方をされたいか、どんなことはされたら嫌かを想像してみてほしい」と伝え、講演を締めくくりました。

講演後は生徒会長の内澤璃々（りり）さん（2年）から聴講者を代表して「私たちが今生きていることは、とても恵まれていることと感じた。大人になって車を運転するときは、絶対に被害者を出さないという意識をもって運転していく」と強い決意を述べました。



↑当たり前の幸せを突然奪われ、命を落とした人達が幸せになれるようにとの思いから実施されている「生命（いのち）のメッセージ展」。パネルはその全長が亡くなった人の身長と同じ高さで作られており、写真や家族のメッセージが添えられています。涼香さんのものも含めた約160人のパネルが「メッセンジャー」として、命は奪っても奪われてもいけないものであることを伝えています。

↑涼香さんが背負っていたランドセル。金具がちぎられており、引き起こされた事故の衝撃の強さを物語っています。

News from library

図書館だより

児童生徒のおすすめ本と今月の新刊を紹介します

図書館利用案内　▶貸出冊数：１人10冊まで
▶貸出期間：２週間以内

■お気に入りの一冊

東山　玲奈（れな）さん
（軽米中学校３年）

あの空はキミの中

作/舞原沙音　絵/柚庭千景（ポプラ社）

この本の主人公の陽向（ひなた）は、小学６年生を最後に野球をやめていましたが、中学３年生で転校したことがきっかけで、小学校のときはライバルだった理央（りお）と一緒に野球をすることを決心しました。全国大会に行くという大きな目標を持って、２年間のブランクを埋めるため毎日頑張りました。

この本からは、最後まであきらめないことが大事ということが伝わってきました。

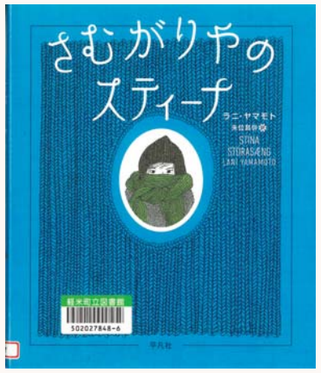
一　般　書

神曲

著/川村元気　（新潮社）

小学生の息子が通り魔に殺された――。悲しみに暮れる家族の前に、不思議な合唱隊がやってくる。母と娘は歌うことで次第に心を取り戻していくが…

児　童　書



さむがりやのスティーナ

著/ラニ・ヤマモト
訳/朱位昌併　（平凡社）

スティーナはすごくさむがり。冬はぜったい外に出たくないし、家の中でもばっちり寒さ対策！　でもふと、外で遊ぶ子どもたちが目に留まります。

テーマ図書展

大切な目

１月30日まで

１月３日は「１（ひと）」と「３（み）」の語呂合わせで“ひとみの日”です。仕事にパソコンが使われるようになったり、スマホの普及により現代人は目を酷使する傾向にあるようです。この日をきっかけに、大切な“目”について考えてみませんか？

↓このポップが目印！

Dreams come trues

夢・希望・えんぴつ

子どもたちの夢を紹介して応援するコーナー

田中　志優（しゅう）さん（軽米中学校２年）

人の役に立つような ものづくりをしたい

私は将来の夢がまだ明確ではありません。けれども、ものづくりに興味がとてもあります。

この間、tumiki club という工房に職場体験に行きました。そこではコンピュータを用いてデザインや加工をし、アクセサリーなどを作る体験をさせていただきました。それらの体験を通して「人の役に立てるようなものを作りたい」と思うようになりました。

来年の今頃は進路選択の時期です。目標に少しでも近づくために、日頃の勉強や生活を大切にし、たくさんのことを吸収していきたいです。

Unique poems

町文化協会　北光吟社　11月例句会

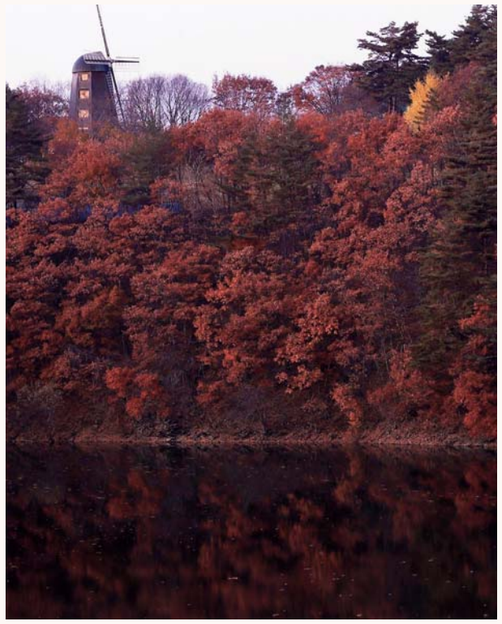
大いなる時雨虹いま里跨ぐ　三上千栄女
餅搗き機餅搗きあがり婆出番　千葉紅園
渓流の音にせかされ紅葉（もみじ）散る　松村英子
朝時雨色濃く立てり二重虹　高橋美智子
点灯の映（ば）えをねらうや冬あかり　丹下美恵子
駒ヶ岳目指す縦横山粧（やまよそ）ふ　千葉ふみ子
くるくると風に乗り継ぎ栗落葉　中野とき子
ハローウィンお菓子あげたりもらったり　東登希枝
蒼天に添ひし紅葉や定義山（じょうぎさん）　長島龍泉
風に揺れ芒（すすき）の穂波寒風山　大清水雪子
真心も味の一役芋煮会　川崎郁子
小春日やホールインワンに得意顔　君成田美代子

Karumai photo studio

かるまいいね！

風車と紅葉

投稿者　takachanxv7さん
投稿日　2021/11/7
撮影場所　雪谷川ダム付近



投稿者コメント

紅葉のピークは過ぎていた感じですが、ダム湖のリフレが綺麗でした。夕方で暗くなるときだったのでこんな感じに…

写真募集中

軽米町とゆかりのある物・人・場所ならどんな写真でもオッケー!!写真採用者には、図書カードをお送りします。

応募方法

①instagramへの投稿
ハッシュタグ「#かるまいいね！」を付けてご投稿ください。

②メールによる投稿
右のQRコードからご応募ください。
(kouhou@town.karumai.iwate.jpまで)

Follow me!!

SNSでも情報を発信中！

Instagram

Facebook

@karumai_town

戸籍の窓口

11月１日～ 11月30日 ※敬称略

★おめでとう

小笠原　凰楓（おうか）　翔太・藍　大清水

吉　田　百花（ももか）　憲司・彩香　緑ヶ丘

おくやみ

日　向　正　美　(72)　長倉
紫　葉　石太郎　(89)　下野場
川　崎　清　子　(68)　沢里
工　藤　幸　一　(85)　上舘
並　岡　石太郎　(88)　山内大久保
宮　本　武　雄　(96)　上新町
蛇　口　ア　イ　(86)　民田山
池　田　幸　一　(85)　萩田
西　舘　サ　タ　(93)　蛇口

人の動き

（令和３年11月30日現在、カッコ内は前月比）

人　口	8,577人（－９）
男性	4,205人（－６）
女性	4,372人（－３）
世帯数	3,731世帯（＋６）
転入	11人　転出　12人
出生	２人　死亡　10人

火災・救急

（11月末、カッコ内は１月からの累計）

火　災	１件（　２件）
救　急	26件（379件）

交通事故

（11月末、カッコ内は１月からの累計）

人身事故	０件（　２件）
死亡者	０人（　０人）
物損事故	３件（124件）

休日当番医

日	急患	電話	歯科	電話
1/16	ほそかわ小児科クリニック(二)	26-8100	ますだ歯科クリニック(二)	26-8282
1/23	小野寺内科医院(一)	33-2505	菅歯科(二)	23-5161
1/30	よこもり眼科クリニック(二)	22-2230	ますだ歯科クリニック(二)	26-8282
2/ 6	千葉耳鼻咽喉科医院(二)	26-8133	渡辺歯科医院(二)	23-2052
2/11	かわさきクリニック(二)	26-9900	右門歯科クリニック(二)	38-2288
2/13	おりそ内科循環器クリニック(二)	22-2251	菅原歯科医院(二)	27-3301

２月４日（金）０時５分～０時15分の間（３分間）

NTT局舎のデータ更新工事のため、**119番がつながらない**状態が発生します

つながらないときは　**“0195-26-8119”**　へおかけ直しください

再生可能エネルギー推進室からのお知らせ

ゼロカーボン推進事業費補助金について

再生可能エネルギー推進室

温暖化防止・低炭素社会を実現するため、電気自動車・太陽光発電設備の導入経費を補助します。

■対象者
町内に住所を有し、町税などの滞納がない個人、個人事業主または法人

■補助率
①電気自動車導入
1台につき10万円
②太陽光発電設備の設置
出力1kwにつき2万円（上限10万円）
※1世帯（団体または法人の場合は1団体）につき1件まで

■交付要件
①電気自動車導入
▼（一社）次世代自動車振興センターの実施する「クリーンエネルギー自動車導入促進補助金」業務実施細則別表1に定める電気自動車
▼町内の販売店から購入した未使用の国産車であること
▼使用の本拠の位置が軽米町
▼初度登録・届出が当該年度内であること
②太陽光発電設備の導入
▼町内事業者と工事請負契約などを締結
▼未使用の設備を設置
▼当該年度での設置
▼最大出力が10kw未満

※要綱や様式は、下のQRコードを読み込んで確認してください。

■問い合わせ
再生可能エネルギー推進室
☎46-2115

子育てメモ

家族で守ろう、子どもの歯

健康福祉課　健康づくり担当　　木村　和子

虫歯は感染症の一種と考えられています。子どもの歯を虫歯から守るには、子どもの口の中に虫歯菌を入れないようにすることが必要です。

生まれたての赤ちゃんの口内には、虫歯の原因となる菌は存在していません。しかし、離乳食が始まるころから「ミュータンス菌」といわれる虫歯菌が現れてきます。食事のときに箸やスプーンを共有したり、かわいさのあまりお口にキスしたりすることで大人から子どもに虫歯菌がうつることが、虫歯の原因となっています（大人同士でも虫歯菌や歯周病菌はうつります）。

かわいいお子さん、お孫さんの歯を守るためにできることは、①ご自身の口腔内を清潔に保って接すること、②箸やスプーンは別々にすること、③料理は大皿ではなく一人ひとりに盛り付ける、④こどものお口にキスはしない、といったことが挙げられます。

これら家族全体での気遣いが、子どもの歯を虫歯から守ることにつながります。

みんなの国民年金

国民年金の保険料で割引制度が利用できます

町民生活課・町民生活担当

国民年金保険料の納付には、口座振替やクレジットカードを利用することができます。

希望する人は、基礎年金番号がわかるもの（年金手帳や納付書など）、通帳、金融機関届出印をお持ちのうえ、金融機関または年金事務所、役場町民生活課へ申し出ください。前納の申込期限は2月末（年金事務所必着）です。

割引制度		期間	割引額※
前納	現金・クレジットカード	6カ月	810円
		1年	3,540円
		2年	14,590円
	口座振替	6カ月	1,130円
		1年	4,180円
		2年	15,850円
早割	口座振替	1カ月	50円

※割引額は令和3年度の額

■問い合わせ・申し込み先
二戸年金事務所
☎23-4111
町民生活課
☎46-4734

広告スペース

事業拡大に伴い従業員急募（短期でも可）
家内労働者募集
未経験者でも大歓迎！
株式会社 埼玉富士 岩手事業所
※「(旧) 株式会社　岩手富士」は、事業拡大・ものづくり体制強化のため、グループ会社である「株式会社　埼玉富士（本社：埼玉県秩父市）」と令和3年11月1日付けで合併いたしました。
業務内容：
●電気機器組立
●検査
●調整作業
詳しくは
総務　大清水まで
お問い合わせください
☎0195-46-3121

手造り仕出し
味彩（あじさい）
テイクアウト予約承ります
純和鶏（唐揚げ・焼き鳥）
折詰・弁当・オードブルにお気軽にお電話ください。
軽米町大字軽米11-127-4　☎46-3680

日帰り白内障手術・小児眼科
白山台くに眼科
院長　日本眼科学会認定専門医　濱端久仁子
診療時間　月　火　水　木　金　土
9:00～11:30　●　●　手術　●　●
14:00～16:30　●　●　注射　●
休診日:毎週水曜・第4土曜日
TEL:0178-51-9251
いとう整形様第2駐車場内・うしお内科様と同じ建物の左側です
ハ戸インターより車で3分

宮沢歯科医院
健康は『健口』から
≪診療科目≫
一般歯科
口腔外科
診療時間　月　火　水　木　金　土
9:00～12:00　●　●　●　●　●　●
14:00～18:00　●　●　●　休　●　●
※予約制・当日予約可　休診日　日曜・祝日　第1，3土曜日
宮沢歯科医院　軽米町　検索
九戸郡軽米町軽米8-105
☎0195-46-2953

広告募集
問い合わせ　kouhou@town.karumai.iwate.jp
1号広告（本枠）
○白黒　4,000円
○カラー　6,000円
2号広告（横幅が本枠の倍）
○白黒　8,000円
○カラー　12,000円
※半年以上の連続掲載で割引あり。

Letter To You

町とゆかりのある人・団体から届いた便り

在京軽米会 協力隊 姉妹町 軽高

姉妹町だより

↓表彰式の最後に行われた記念撮影

新しい道の駅おとふけ愛称募集に係る表彰

新しい道の駅おとふけの愛称募集に係る表彰式がふれあい交流館で行われ、受賞者と関係者合わせて30人が参加しました。愛称は全国から1,021件（669人）の応募があり、緩詰（ゆるづめ）健司さん（大阪府）の『なつぞらのふる里』が最優秀賞に選ばれました。リモートで参加した緩詰さんは「昔、音更町に訪れたことがあり、愛称に選ばれ不思議な縁を感じている。４月のオープンに訪れるのが楽しみ」と謝辞を述べました。

北海道音更町（おとふけちょう）

十勝平野のほぼ中央に位置し、人口約44,000人。自然豊かでじゃがいもや玉ねぎなどが特産。当町とは、昭和60年10月31日から姉妹提携し、小学生の宿泊研修やイベントなどで相互交流を行っている。応援大使は、同町出身で日本テレビアナウンサーの滝菜月さん。

在京軽米会 協力隊 姉妹町 軽高

在京軽米会だより

↓気持ちは軽米高校生！

ふるさと軽米があったからこそ

田畑　康裕さん（下新町行政区出身）寄稿

盛岡での１年間の美容学校生活を経て、昭和58年３月、浦和市（現：さいたま市）の美容室へ就職しました。気が付けば39年同じ仕事を続けており、この仕事は性に合っていたのだと思います。美容室には老若男女、さまざまなお客様が見えます。若いお客様には模範となるよう自らを律し、年配のお客様には「勉強させていただきます」の精神で接しています。

余暇では、芸能好きな事もありカラオケ教室も開いています（コロナで休止状態ですがこの号が出る頃には再開出来てたら良いなぁ）。見た目も垢抜けてすっかり都会人になりましたが、私の身体と精神は紛れもなく軽米の澄んだ空気、雪谷の清流から出来ています。想いはいつも軽米にあります。たまの里帰りの際、見かけたらどうぞ気軽にお声をかけて下さいね。

在京軽米会 協力隊 姉妹町 軽高

軽高だより

地域探究学習
――スマート農業と交流駅――

本校では、町の活性化をテーマとした総合的な探究の授業『カルマイResearch』に取り組んでいます。

学習の一環として、９月29日（水）２年生が県北農業研究所で、スマート農業に関する最先端の研究を学びました。生徒からは「軽米でも実用化してほしい」という声が聞かれました。

さらに、かるまい交流駅（仮称）の活用について話し合いました。「イベントのないときに映画上映してはどうか」「バス停の待合室を町の情報発信の場にしてはどうか」などの提言がされました。

↓県北農業研究所の大規模園芸ハウス内を見学

↑班ごとに交流駅の活用方法を話し合っています

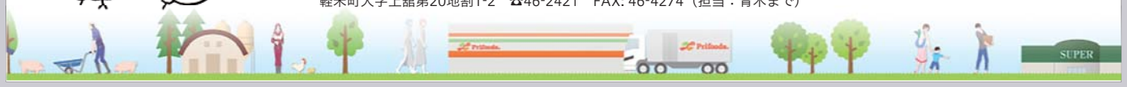
軽米中学校出身生の活躍

昨年11月６日に北上総合体育館で行われた令和３年度岩手県卓球選手権大会兼全日本予選会（一般の部）で、男子ダブルスの部で野中大地さん（写真左、専大北上１年）が社会人、大学生を破り優勝しました。野中さんは岩手県代表として、１月24日から東京都（東京体育館）で行われる天皇杯・皇后杯2022年全日本卓球選手権大会に出場します。

また、昨年11月20日には第74回東京卓球選手権大会岩手県予選会が花巻市総合体育館で行われ、屋敷大（やまと）さん（同校３年）が男子シングルの部で優勝しました。屋敷さんは３月18日から東京都（東京体育館）で行われる本戦に出場します。

広告スペース

玉姫グループ
葬儀・法要専門会館
セレモニーホール
玉泉院
0120-494-109
その人生に感謝を。
葬儀・法要お気軽にご相談ください　館内見学、事前見積り相談承っております。
二戸玉泉院 TEL.0195-29-1600
久慈玉泉院 TEL.0194-53-0061
軽米玉泉院 TEL.0195-46-4109
福岡玉泉院 TEL.0195-23-4440
九戸玉泉院 TEL.0195-43-3409

プライフーズ株式会社　軽米工場
従業員募集
従業員・アルバイトを募集しています。まずは、お気軽にお電話ください。
軽米町大字上舘第20地割1-2　☎46-2421　FAX: 46-4274（担当：青木まで）
未来に、まっすぐ。食卓に、まっすぐ。
Prifoods
プライフーズ


広告スペース

Volley Ball Victory

岩手県小学生バレーボール育成大会

軽米VBSS 4連覇

追い込まれながらも気持ちを繋ぎ続け、遂に手にした栄冠

いわて純情りんご杯第38回岩手県小学生バレーボール育成大会兼岩手県スポーツ少年団バレーボール交流大会の女子の部が11月27・28日と12月4日に奥州市などで開催され、軽米VBSS（軽米バレーボールスポーツ少年団）が優勝し、同大会4連覇を達成した。

決勝戦は、夏の大会準優勝で、本大会も準決勝で第1シードを破り勢いに乗る一関との戦いとなった。

1セット目を落とし、2セット目も攻め込まれリードを許す。13対18と後がない状況に追い込まれた軽米はここから反撃開始。磨き上げたサーブとレシーブを軸に、レフト、ライトからの強烈な攻撃へと繋ぐ展開に。デュースまでもつれたが粘りのバレーで2セット目を奪取。

最終3セット目は、一関にややリードされるものの、すぐに軽米が取り返す。お互いに点を取り合いまたしてもデュースに。最後まで諦めない強い気持ちで戦った軽米は、見事16対14で最終セットをとり、4年連続となる県大会優勝を果たした。

2月の新人戦、夏の県大会でベスト8（この2つはともに優勝チーム（栗林ラビースポーツ少年団）に負けた）、秋の選抜大会で準優勝と着実に成長を続け、最後の大会で優勝を手にした軽米。キャプテンの菅原悠奈（ゆな）さんは「ミスは仕方がないと割り切って、次に得点するようにチーム全体で意識してきた。追い込まれた展開でも、キャプテンとして『1点取るよ！』と励まし続けた。ミスを減らしていったのが今回の優勝につながったと思う」と振り返った。

全国大会は3月27日から島根県で開催される予定。ハイキューの聖地で努力を続ける選手たちが、次は全国を舞台に活躍していく。

メンバー

背番号	氏名	学校	学年
1	菅原　悠奈	軽米	6
2	上柿　瑠華	軽米	6
3	田端　羅良	山形	6
4	明堂　莉己	軽米	5
5	竹花　杏	軽米	4
6	鶴飼　綾	軽米	4
7	鶴飼　紫音	小軽米	4
8	小田　彩心	軽米	6
9	小田　礼歩	軽米	5
10	戸田　蘭	軽米	3
11	明堂　叶歩	軽米	3
12	菅原　珠優	軽米	3

大会結果

■予選リーグ　軽米　2－0　岩泉
（21- 2、21- 7）

軽米　2－0　花巻
（21- 6、21-11）

■決勝トーナメント

1回戦　軽米　2－0　紫波東
（21- 3、21- 5）

2回戦　軽米　2－0　高田東
（21-19、21- 9）

準決勝　軽米　2－0　金ヶ崎
（21-19、21-13）

決勝戦　軽米　2－1　一関V
（17-21、24-22、16-14）

Details

みんなに応援してもらえるチームを育てたい

軽米の輝き人 vol.10

One and only brilliance

軽米VBSS監督
菅原 宗将さん
SUGAWARA HIRONOBU

4年連続での県大会優勝など、軽米VBSSは全国に名を轟かすチームとなった。その個性豊かな選手をまとめ上げるのが、監督の菅原宗将さん。

菅原さんがバレーボールに関わるようになったのは高校生のときから。卒業後も軽米中学校バレーボール部の外部コーチとなり指導育成に携わった。

その後軽米VBSSの監督に就任し、今年度で9年目を迎えている。県大会で優勝する実力を持った選手たちに対しても、技術だけでなく精神的な指導にも余念が無い。練習の際も、常にチームメイトを思いやってプレーさせることを念頭に指導しているとのこと。「バレーボールは普通、レシーブ、トス、スパイクと繋ぐ。レシーブを頑張ればトスが楽になり、トスを頑張ればスパイクが楽になる」と熱く語った。

理想のチーム像は「他チームの選手や保護者から応援してもらえるチームになること」と語る。軽米VBSSの得点で拍手が起こると、それを実感できるという。

厳しくも温かい父性を秘めた監督は、これからも成長を促すべく檄を飛ばす。

【広報紙掲載にあたってのお知らせ】
①広報紙内で掲載している名前について、正式なお名前が俗字等であっても、入力処理の関係で正字で記載される場合があります。あらかじめご了承願います。
②本号では、22～23ページにて「優勝の喜びを表す集合写真を大きく掲載」し、かつ「写真中の人物に穴を開けない」紙面構成をとった都合で、ページ中央付近の綴じ穴を空けずに発行いたしました。ご理解・ご了承をお願いします。
※穴を開けて保管したい方は、背表紙左中央の赤い「◀」を基準にすると、上下均等に穴を開けることができます。

発行 | 軽米町　編集 | 総務課
〒028-6302 九戸郡軽米町大字軽米10-85
TEL | 0195-46-2111　FAX | 0195-46-2335
ホームページ | http://www.town.karumai.iwate.jp/

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C007678
広報かるまいは、環境に配慮した用紙を使用しています。
UD FONT by MORISAWA
見やすくよみまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。